

仏様のおはなし新シリーズ第111集

「親鸞さまのお誕生「降誕会」」

浄土真宗の宗祖である親鸞さまは1173(承安3)年5月21日に京都の日野の地で誕生されました。9歳の時、得度され比叡山で20年の間、自力修行にいそしみ、さとりの道を求め続けられました。しかし、さとりを得ることはありませんでした。阿弥陀如来の智慧の光は私のありのままを照らし出し行く道を示して下さり、慈悲の心で寄り添い人生を共にしてくださいます。阿弥陀如来は、「必ず導き救いますから、私にまかせて南無阿弥陀仏と念佛申す人生を歩んでください」と、呼び続けておられます。

親鸞さまは、「あらゆる者を救いとする教えこそ真実の教えであり、いま悩み、悲しみをかかえて苦しんでいる私たちに阿弥陀如来は、はたらきかけられています」とお示しになりました。

その阿弥陀如来の光に照らされて見えてきた私の姿は、煩悩にまみれ自己中心の考えにとらわれた迷いの姿であります。

親鸞聖人は高僧和讃に

「生死の苦海ほとりなし ひさしくしづめるわれらをば
弥陀弘誓のふねのみぞ のせてかならずわたしける」と、お示し下さいました。

阿弥陀如来は、迷い苦しみの中に入る私たちを導き、本願を信じさせ、お念佛申させ、いのち終えるとき、すみやかに淨土に生まれさせ、仏とならせて下さる。それによつて慈悲の心をおこし、あらゆる者を救いとするために、はたらかせていただくのです。

親鸞さまが誕生され、他力念佛の教えに帰されなければ、私たちがこの教えに出遭うことはなかつたでしょう。ありがとうございます、南無阿弥陀仏。



福岡組

検索